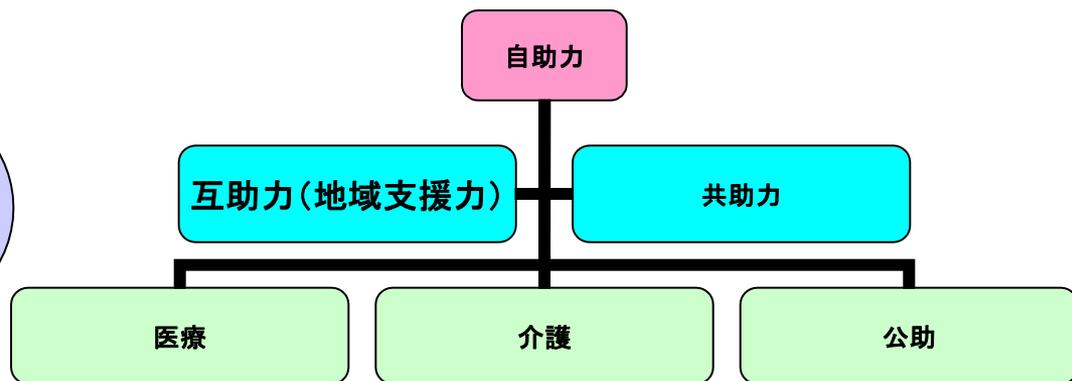
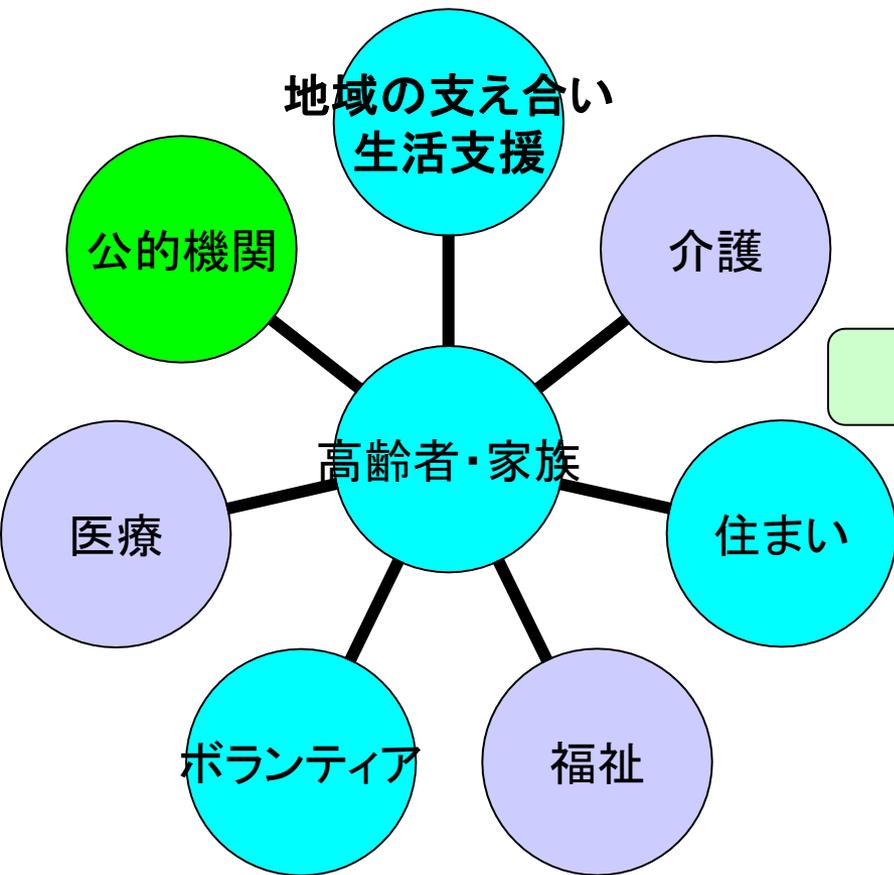


高齢化対策、災害対策の一環として、地域の実態把握、見守り支援活動を進め、地域のネットワークづくり、しくみづくりにつなげた南千代自治会の取り組み(奈良県田原本町)

高齢社会に向けた地域ネットワークの段階



- **南千代自治会で力を入れている取り組み**

- ① 民生委員とタイアップして1人住まい高齢者等を個別訪問し、情報収集
- ② 全世帯を訪問し、実態把握→災害時要援護者リストを作成
- ③ 自主防災会活動として災害時や緊急時の支援が困難な方の登録
- ④ 各ゾーンごとに支援者を配置し、日々の見守り支援活動

- **地域で気になっている高齢者問題、これからの活動**

- ① 独居老人が増えつつあり、日頃の声かけやパトロールの必要性。
- ② 台帳情報は自主防災本部長と各ゾーンの常任委員が管理し実情の把握「災害時要援護者リスト(各ゾーン支援体制)」の活用と刷新





地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

① 区町村名	田原本町
② 口（※1）	田原本町 32,894人 ・ 南千代 317人(25.4.30現在) (38.2%)
③ 高齢化率（※1） <small>（65歳以上、75歳以上それぞれについて記載）</small>	田原本町 65歳以上 8,513人 (25.9)
	75歳以上 4,023人 (12.2)
	南千代 65歳以上 121人 (38.2)
	75歳以上 29人 (9.1)
① 取組の概要	高齢化対策として、地域の自治会、自主防災会、民生委員が中心となり、高齢者（要援護者）実態把握の必要性について住民に呼びかけ「支援マップ」を作成。情報として上がってきた対象者については、自治会長、民生委員が総世帯を個別訪問し、得られた情報（基礎資料）を「災害時要援護者リスト」としてまとめ、支援活動に活用している。
⑤ 取組の特徴	地域の見守り支援対策の必要性について住民に周知されており、「個人情報」の壁も住民の理解が得られ、関係者の協力体制のもと支援活動に繋げている。
⑥ 開始年度	平成24年度
⑦ 取組のこれまでの経緯	自治会行事の他、老人会を中心に介護予防や親睦会の取り組みが盛んで自治会（役員）、民生委員、老人会の関係づくりができており、情報交換をもとに継続した活動を展開してきた。支援マップを基に「要援護者リスト」を3区ゾーンに分け、支援員、民生委員とともに一人住まい高齢者宅、気になる方を対象に巡回し、支援体制の確保と日々の支援活動に繋げている。
⑧ 主な利用者と人数	65歳以上、要援護者等 60名
⑨ 取組の実施主体及び関連する団体・組織	自治会、民生委員、老人会、自主防災会
⑩ 市区町村の関与（支援等）（※2）	平成23年度に田原本町が実施した「地域支援員養成講座」に4名（自治会長、自治会役員、老人会長、民生委員）が参加し、地域の見守り支援体制づくり、ネットワークづくりに向けた取り組みを進める機会となった。また24年度「地域づくりシンポジウム」にも関係者が参加、独自の地域づくりを進めている。
⑪ 国・都道府県の関与（支援等）（※3）	平成22年度～23年度において、市町村包括ケア推進事業（地域包括支援センター機能強化事業）を活用。地域支援力の強化を目的に地域支援員（地域コーディネーター）の人材育成（平成23年～25年）、ケアマネジャー研修を行っている。
⑫ 取組の課題	「災害時要援護者リスト（各ゾーンごとの支援体制）」の活用と刷新に取り組むことにより、タイムリーな援助を行っていく。
⑬ 今後の取組予定	台帳の支援体制を基に各ゾーンごとに支援者を配置し、日々の見守り支援体制に向けた取り組みを進める。
⑭ その他	防災意識が高い地域で、自治会内の要援護者に緊急キットを数年前に導入
⑮ 担当部署及び連絡先	田原本町住民福祉部長寿介護課 TEL 0744-34-2101

※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。
 ※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。
 ※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。

